こんにちは! 事務局です

❖ 理事会報告

第４回／平成29年７月15日（土）

Ⅰ 協議事項

1．職能委員会活動計画について
2．地区支部における活動計画について
3．平成30年度予算編成に伴う要望について
4．滋賀県看護学会開催予定について
5．肝臓疾患医療連携協議会研修会の予定について

Ⅱ 報告事項

1．会議等の報告

第５回／平成29年９月16日（土）

Ⅰ 協議事項

1．滋賀県看護協会育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について
2．滋賀県立琵琶湖博物館メンバーシップ（会員制度）の登録について

Ⅱ 報告事項

1．平成30年度滋賀県予算編成に伴う要望書について
2．地域総合確保基金の計画について
3．活動報告（７月以降直近）職能委員長・地区理事
4．本年度新規事業予定等進捗状況
5．日本看護協会理事会・役員会議
6．その他県主催会議
7．看護問題議員学習会

会員の特典制度について

滋賀県看護協会に入会されますと、ホテル宿泊料金の優待割引等、いろいろな会員特典があります。（詳細は、ホームページ「看護職の方へ」に掲載。）

このたび10月１日より、本協会が県立琵琶湖博物館のメンバーシップとなり、入館料が２割引となる等の特典を受けられるようになりました。ご利用下さい。

会員の声・感想

▶看護フェアは県民の皆様に色んな体験をしていただけて、看護職について知ってもらう良い機会だと思います。是非来年は参加したいと思います。(M.N)

▶県の通常総会には参加できませんでしたが、重点事業も掲載されており、わかりやすかったです。(M.O)

▶看護フェアの記事が目に留まりました。内容にも興味があり、次回のフェアには参加したいなと思いました。(K.T)

▶県内での多くの受賞おめでとうございます。素晴らしいことですね。少しでも近づけるよう頑張りたいと思いました。(N.K)

編集後記

朝の空気に爽秋の気配が感じられる頃となりました。今号も滋賀県内で活動されるさまざまな方々の報告やお知らせを掲載させて頂いています。広報委員も皆様の愛読紙になれるように取り組んでいます。ナースレークの他にもホームページ上の健康情報も掲載しています。ぜひご覧ください。（吉田）

プレゼント! 投稿大募集!!

vol.137の「一番星見つけた!（輝いている人）」「表紙の写真」「会員の声（ご意見・ご感想）」に投稿いただいた方の中から抽選で５名の方に、『2018年版 日本看護協会 会員手帳』をプレゼント。とりあげてほしい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくは、ホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック!（次回発刊は１月中旬予定です）

真珠の郷　英虞湾より

ネックレス・指輪・装身具の販売・加工

奥出加工

真珠に関することなら何でもご相談ください。

080 (6912) 5846

三重県志摩市磯部町坂崎　120-405　TEL:0599-55-2888（代）
奈良県磯城郡田原町本町泰庄　379-1　TEL:0744-32-3835

この心地良さ、誰にも譲れない

EDEL（エーデル）

2017 collection

TUK 東洋羽毛東海販売株式会社

三重営業所 FAX 0120-585104

〒514-0003　三重県津市桜橋 3-67-13

～お気軽にお問い合わせください～

広報紙「ナースレーク」

Nurse Lake

Vol.136

2017年10月

公益社団法人 滋賀県看護協会

写真：近江八幡市野田町にて（撮影：U.Tさん）

新人研修会の様子

一番星☆見つけた!

訪問看護師 多久島尚美さん 詳しくは2・3ページへ

CONTENTS

《一番星見つけた!》
子どもたちの暮らしを支える訪問看護師さん!!…2～3
Voice～これからの看護師に期待すること～……4
新人研修報告……4
労働環境改善委員会報告……5
看護師職能Ⅱ委員会報告……5
地区支部だより……6～7
滋賀県看護学会案内……8
医療安全通信……9
ナースセンターだより／はたさぼ通信……10～11
こんにちは! 事務局です／会員の声／編集後記…12

発　行　所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 廣原惠子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468　FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/

モバイルサイト

滋賀県看護協会　検索

滋賀県看護協会会員数（平成29年10月１日現在）

保健師/　321人　助産師/　253人
看護師/7,263人　准看護師/　219人
合計 8,056人

一番星★見つけた！

子どもたちの暮らしを支える 訪問看護師さん!!

新生児医療技術の向上により、多くの子どもが救命される一方、人工呼吸器・経管栄養などが必要な「医療的ケア児」が増え、在宅で過ごすケースも増加しています。

今回、障害児に特化した「訪問看護ステーション ちょこれーと。」に取材・同行させていただきました。

Q. どのようなスタッフがおられますか？

A. 看護師は30代が多く、初めて訪問看護に携わるスタッフもいますが、元々びわこ学園（重症心身障害児施設）やNICU・小児科の経験のある看護師が多いです。みんな子どもが大好きでかわいい、愛情を持っている看護師です。

Q. 訪問看護を受けるまでの経過を教えてください。

A. 主に病院からの地域連携、退院調整看護師からの紹介が多いです。市の保健師や障害福祉相談員などからの依頼もありますが、親御さんのネットワークで当施設を選んでもらっていることもあります。

Q. 障害児の訪問看護に必要なこと、大事にしていることなど教えてください。

A.
- 観察力・判断力・子どもとの遊びを通して疾患の悪化だけでなく、感情の変化も見落とさない
- 成人の訪問看護と違い、対子どもと親になるため、双方に寄り添い、信頼関係を築く
- 看護師として、家族の言葉・行動を尊敬・尊重
- 決して指導ではなく、家族と共に考えて助言、一緒に参画する気持ちで接する

Q. スタッフ間のミーティングやカンファレンスはどのように行なわれていますか？

A. 看護師は直接訪問し、直帰することもあります。そのため、昼食時など事務所へ帰ってきた時に、数人でも集まった時にカンファレンスなど話し合う等しています。また、サテライトとのカンファレンスを行なう時にはスカイプなどネットを使っています。

□訪問看護ステーション「ちょこれーと。」概要

- 2005年７月開所
- 看護師11人（常勤４人、非常勤７人）
- 24時間対応
- 利用者数：医療保険43人、介護保険は２人のみ（小児に特化）、20歳未満34名、20歳以上９名、小児障害児約40名で乳幼児が中心。学童期も多い。
- 訪問時間：医療保険としては時間の制限はないが、約１時間半の訪問。登校前・下校時のケアは約30分。
- 主な内容：洗髪や整容、身体を動かしたり、遊び、車いすへの移動、吸引、注入など
- 担当地域：湖南地域、大津市（一部）、湖南市（一部）、近江八幡市（一部）
  現在、県外からの転入者も多くなっている。
- 主な疾患：脳性マヒ、神経系、心疾患など
- 主な行事：年間行事として年２回『お楽しみ会』を開催。最近では夜間の様子を見るためにお泊まり会も開催。

実際にHさんの訪問に同行、お話を聞かせていただきました。

Q. 今回訪問看護を利用してどのぐらい経つのですか？

A. 退院して約１ヶ月ぐらいです。週に３回（月・水・金）利用しています。

Q. 「ちょこれーと。」さんを選んだきっかけは？

A. 入院中に看護学生さん対象の勉強会があって、NICUの師長さんから、「お母さんも一緒にどう？」と誘ってもらって勉強会に参加させていただきました。その中で多久島さんの話を聞いて「ちょこれーと。」さんがいい！と決めました。また、他のママさんからもここがいいよと言われたので。転院したとき、他の訪問看護を紹介されたけど「ちょこれーと。」さんに決めてました。

Q. 自宅に戻ってきて、実際の生活には慣れましたか？不安なことなどはないですか？

A. う～ん、あまり気にしてないので慣れました（笑）。上のお姉ちゃんやお兄ちゃんが面倒をみてくれるので、ほとんどみてないです（笑）。一度だけ、呼吸器の蛇管を自分で持ち上げて、水が気管に入ったときは「どうしよう？？？」とパニックになって夜間に電話をしたことがあります。

年齢1歳半の女児、呼吸器装着中

Q. 自宅に帰ってきて、○○ちゃんの様子はどうですか？

A. 自我がでてきました。やんちゃになった。すごく成長しました。

Q. 訪問看護を受けての感想・思いはどうですか？

A. 夜間に急変が起きた時、すぐに電話で連絡をして助言をもらってすごく安心しました。救急車を呼ぼうと思ったけど事情を話すだけでも大変なので、状況を知っている訪問看護師さんだからこそ信頼もあって、本当にありがたいです。

1日の主な流れ

- 8:30～ 学校登校前に訪問
- 乳幼児の家庭訪問
- 15:30～ 学校から帰宅後の訪問

❊ 取材を通して…

訪問に同行させていただき、子どもへの接し方をみていて愛情をたっぷり注いだ看護がすごく印象的でした。乳幼児は大人と違い、うまくコミュニケーションをとるのが難しく、また、気管切開をしていると声を発することもできないため、表情や視線などから気持ちを察し気づきを大切に接しておられたことに看護の基本を振り返ることができました。また、家族との信頼関係があるからこそ、訪問看護を受けている少しの間、親が買い物や休息ができるように関わっておられ、家族の一員として接している姿がすごく勉強になりました。

地域包括ケアの時代となり、これから小児障害児に特化した訪問看護がますます必要になってくると感じました。（坂本・古川）

Voice ―― これからの看護職に期待すること

一般の市民に病院で働く職種を尋ねると、返ってくるのは医師、看護師が殆どである。それだけ看護師という職種は一般市民に浸透している。

その理由は、患者さんの直ぐそばにいるのは何時も看護師であるからであろう。我々、診療放射線技師はそれを羨ましくも思う。

看護師の仕事は、診療室や病棟だけではなく、放射線部においても診療放射線技師が安心して働ける職場を提供してくれている。それを痛感するのが、検査時に起こる患者さんの急変である。我々、診療放射線技師は患者さんの急変時には無力であり、医師と看護師の対応を呆然と見守ることしかできない。患者さんに何かあった際、我々が最初に頼るのが看護師である。

また、看護師は卒後教育、専門教育などの面でも、他の医療職より先行して改革に取り組まれており、気が付けば我々はその後ろを何時も追いかけている。

これからも、メディカルスタッフの中心として、色々な面で先頭に立って改革を進めて頂くことを期待している。

滋賀県放射線技師会 会長
松尾　悟 様

ラダー別研修 レベルⅠ　●日時：平成29年6月15日・16日・22日・23日／●場所：滋賀県看護研修センター

「新人研修～看護職として組織人としての意識の確立～」研修会

上記の４日間の研修で、滋賀県内施設に就職した新人看護師職員数644人中、延べ511名の参加がありました。

はじめに、滋賀県看護協会廣原会長より、看護学生との出逢いと交わした言葉で患者様ご自身が前向きになれた温かいエピソード、日本看護協会・滋賀県看護協会の今後の動向、看護専門職に期待されることを講義して頂きました。自分を大切にしつつ『楽しく笑顔で！看護の力で滋賀を元気に！』とエールを送られました。

滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター長 多川晴美先生より、午前中は看護職として社会人として組織人の一員として必要な社会人基礎力を学びました。午後からはグループワークを行ないました。３ヶ月の経験から、つらかったこと・失敗したこと・困ったことや嬉しかったこと・よかったことを仲間と出し合うことで思いを共有できました。また、講師より抱えているストレスを和らげる方法・対処方法を教えていただきました。受講生からは、「自分と同じ悩みをもっている仲間がこんなにいる」「患者・家族からありがとうという感謝の言葉が嬉しかった」「先輩から成長を認めてもらえた」「頑張っていることをみんな見ているよと言ってもらえた」「辛いことだけではない。嬉しかった事を出し合うことでポジティブになれた」との声が聞かれました。最後になりたい看護師像を仲間に話すことで明日からの更なる活力に繋げられました。　（広報委員：永田・吉田）

委員会活動報告

労働環境改善委員会

今年度の活動計画は、

①昨年度に実施した実態調査を踏まえて夜勤交代制勤務ガイドラインの活用推進
②夜勤看護職員の実情と賃金について検討
③ワークライフバランスのワークショップの開催を支援
④医療勤務環境改善支援センターとの連携を強化

のもと、活動を進めていきます。

滋賀県医療勤務環境改善支援センターを訪問しました！

滋賀県医療勤務環境改善支援センター（以下センター）は、医療スタッフの離職防止や定着促進、医療安全の確保等を図るため、医療勤務環境マネジメントシステムを活用して、医療従事者がいきいきと働ける職場づくりの総合的な支援をしています。

目　的：センターの活動状況と連携についての意見交換を行う。
訪問日：平成29年８月30日（水）
訪問者：委員会メンバー３名と担当常務理事１名の４名で訪問し、センターの事務局長、医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）の意見をお聞きしました。
内　容：センターでは、医療機関に勤務する職員に対し様々な取り組みをしていましたので、その一例をご紹介します。

- **病院や有床診療所への勤務環境に関する実態調査**
- **医療労務管理アドバイザーからの相談とアドバイザー派遣**
- **医療勤務環境改善に関する研修会の開催**
- **その他**

滋賀県医療勤務環境改善支援センターの連絡先

医療従事者の勤務環境改善に関する各種相談・研修の講師派遣を受け付けます。
●受付時間／月曜日から金曜日までの平日午前９時から午後５時まで
●受付場所／一般社団法人滋賀県病院協会内「滋賀県医療勤務環境改善支援センター」
●専用電話／**077-500-3106**《FAX（病院協会共用）077-525-5859》
詳しくはホームページをご覧いただきご相談下さい。

看護師職能委員会Ⅱ

会員の皆様、こんにちは！

平素は看護師職能委員会Ⅱの活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当委員会は、平成24年度に委員会を発足し、小規模施設等（介護・福祉関係施設・在宅等領域）で働く看護師を対象に活動しています。毎年、在宅療養を支援する看護職の人材育成や委員会の活動内容の周知および会員確保を目的に研修会等を開催しています。

平成29年度は、県民公開講座（一般市民、介護職等の他職種の参加含）、感染実践研修会（診療所で勤務する看護職対象）、施設看護管理者研修会を企画・立案し、随時開催しています。

７月19日開催の施設看護管理者研修会では「特養、訪看、老健等のそれぞれの問題や課題を知る機会になった。」「お互いの悩みや相談を聞いたり、話したりすることができ、貴重な経験だった。」等の感想を頂きました。

地域包括ケアシステムにおいて、医療と介護、病院と在宅をつなぎ、地域での療養継続を支える看護の役割強化が求められる中、看護師の更なる専門性の向上および各職種間の連携強化が求められています。

これらを踏まえ、当委員会の活動内容の周知および会員確保は勿論のこと、看看連携・他職種連携を活動の主軸に置き、展開していきたいと考えています。

委員一同一丸となり、活動して参りますので、会員の皆様の益々のご協力をお願い致します。

～地区活動計画～ 地区支部だより

第1地区支部

会員数2,433人
（2017年９月現在）

病床機能の分化が進む中、病院から在宅へ患者が住み慣れた地域・自宅で必要なサービスが受けられるよう、医療と在宅をつなぐ基盤づくりを目指す。また、看護職員が１人でも多く参加し、各施設での地域包括ケアに向けた取り組みの一助になるよう、活動をする。

地区PR　「患者が安心して在宅で過ごすため」をモットーに病院から在宅へ患者が住み慣れた地域・自宅で必要な支援が受けられるよう、医療と在宅をつなぐ基盤づくりを目指す。

第１地区支部は、滋賀県全体の1/3以上を占めております。今後、滋賀県では75歳以上高齢者の割合が2025年58%、2030年60%と著しい増加が予測されていますが、大津区域の医療機関は、一般病床に比べ療養病床が少ない状況です。また、在院日数が短縮される中、医療機関にかかる患者や家族の不安は大きいと思います。

そこで、第１地区支部では患者・家族が在宅で安心して過ごすために看護職員１人１人が自身の役割を考えられるよう活動をしております。昨年度は、入院した患者が退院するまでに必要な支援を考える研修会などを実施しました。今年度は、在宅医から在宅で過ごす患者に対して看護師の役割についての講演や他職種（薬剤師）の役割および連携についての研修会を企画しました。10～11月にはスペシャリスト出前講座を予定しております。また、大津保健所とも協賛し、患者を取り巻く環境を考えた情報交換ができる活動も考えております。

地域交流では今年も10月15日に浜大津 明日都で『おおつ健康フェスティバル』で市民向けに救急蘇生法やAED作動体験を実施します。

第１地区支部長
小寺 利美

第2地区支部

会員数1,699人
（2017年９月現在）

急速な高齢化が進み医療や介護を必要とする人の大幅な増加が見込まれる中、地域との連携を図り高齢者支援を構築していきます。

地区PR　草津市、守山市、栗東市、野洲市の会員で構成されています。今年度は職種を超えた地域との連携を重点目標として活動しています。

【重点項目❶】看護実践能力の強化
□９/30㊏：成人病センター 新館４階講堂
《研修会》地域包括ケアシステムについて
□２/３㊏：成人病センター 新館４階講堂
《研修会》多職種で支える高齢者のリハビリテーション
【重点項目❷】安心して働き続けられる職場環境づくりの推進
□12/２㊏：成人病センター 新館４階講堂
《新人リフレッシュ研修》ヨーガ体操
【重点項目❸】地域包括ケアを支える看護の機能強化
□10/28㊏：玉川小学校 まちの保健室／玉川萩まつり

第２地区支部長
西田 浩美

第3地区支部

会員数582名
（2017年９月現在）

①社会のニーズに対応した看護実践能力を高める
②安心して働き続けられる職場環境を整える

地区PR　第３地区支部は、甲賀市と湖南市の地区です。地区支部活動を通して、会員同士が情報交換し共に学べる機会を持ち、顔の見える関係をつくっていきたいと思います。

看護実践能力の強化に重点をおいた活動では、７月に地域包括ケアシステムを支える看護職の役割をテーマに講習会を開催し、看護師として活動する中で、安心できる地域には何が必要かを考える機会となりました。１月には、看護研究発表会を計画しており、また認知症看護についた講習会も予定しております。

安心して働き続けられる職場環境づくりの推進に重点をおいた活動では、７月に健康支援として腰痛予防体操を行い、多数の看護職員が参加いたしました。11月には、働き続けられる職場づくりをテーマに講習会を開催する予定です。

地域包括ケアを支える看護の機能強化に重点をおいた活動では、８月に地域包括ケアにおける急性期病院の役割をテーマに研修会を開催しました。また10月には「ときどき入院ほぼ在宅のすすめ」をテーマに、これからの地域包括ケアについて市民のみなさまと考える催しを行う予定です。

第３地区支部長
井原 憲子

第4地区支部

会員数990名
（2017年９月現在）

①経験年数に関わらず地区支部活動に参加し、看護職間の連携を図り顔の見える関係つくりを目指す
②病院領域で働く看護職、介護・福祉・在宅領域で働く看護職が地域における互いの役割、活動、課題を話し合い、地域包括ケアシステム構築に向けて取り組む

地区PR　第４地区支部は、近江八幡市、東近江市、蒲生郡の地区です。リフレッシュ研修会や、看看連携交流会を通して、地域を支える看護職の定着と関係づくりに邁進します。

【重点項目❷】安心して働き続けられる職場環境づくりの推進
□10/21㊏：近江八幡市立総合医療センター よしぶえホールで、卒後２・３年目を対象としたリフレッシュ研修を行います。
【重点項目❸】地域包括ケアを支える看護の機能強化
□12/３㊐：ショッピングプラザアピアで開催される「東近江健康フェア」で、まちの保健室を実施します。
□２/３㊏：近江八幡市立総合医療センター よしぶえホールで、「看護職Ⅰ・Ⅱの交流会」として、事例検討・情報交換会の実施を予定しています。

第４地区支部長
白井 直美

第5地区支部

会員数836人
（2017年９月現在）

住み慣れた場所でその人らしく暮らせるような地域づくりのための看護職連携をめざす

地区PR　第５地区支部内には、２つの看護系大学があるのが特徴です。今年も看護職を中心に高齢者及び認知症者の支援にがんばっていきます。

【重点項目❶】看護実践能力の強化
□６/10㊏：くすのきセンター／《リフレッシュ研修》セルフケアできる下肢のマッサージ
□９/７㊍：くすのきセンター／《認知症研修》地域における認知症者支援の実際
□１/20㊏：事例検討会
【重点項目❸】地域包括ケアを支える看護の機能強化
□10月（予定）：彦根市体育センター／まちの保健室
□11/18㊏：くすのきセンター／《地域活動》認知症を理解する

第５地区支部長
橋本 逸子

第6地区支部

会員数1,211名
（2017年９月現在）

地域包括ケアを支える看護職の連携強化

地区PR　第６地区では奇数月に湖北圏域看護職連携会議や多職種での事例検討会を開催しています。

米原・長浜市の会員で構成されている第６地区です。

例年長浜バイオ大学での「健康フェスティバル」に参加しています。「まちの保健室」のブースを設置し、手洗いチェックと看護協会のPRとして看護師の仕事の様子を放映しました。317名が参加され手洗いの大切さを学んで頂くよい機会となりました。

滋賀県看護協会の重点事業❸、「地域包括ケアを支える看護の機能強化」の事業項目に地域包括ケアシステム構築に向けた看護職や多職種の連携強化と人材育成があります。集会後、「地域包括ケアシステムについてみんなで学ぼう」というテーマで、長浜・米原市役所の方に講演して頂きました。地域包括システムのしくみや地域での実践状況を聞くことで現状を知ることができました。

在宅医療福祉を推進していくため、当地区で活動する看護職が集まり、活動に関する意見交換や学習会を実施し、相互の理解と連携を図っています。連携会議後、事例検討会を開催し、多職種と様々な意見交換を行っています。病院や地域での支援のあり方を考えるよい機会となり、とても学びの多い事例検討会になっていますので、多くの方の参加をお待ちしております。

第６地区支部長
西嶋 道子

第7地区支部

会員数265名
（2017年９月現在）

地域包括ケアシステムを支える看護職として、それぞれの活動場所で求められる看護職の役割が発揮できるように推進する。

地区PR　支部の顔の見える関係性を生かし、すべての世代が安心して地域で暮し続けられるように、看護力を発揮します。

第７地区支部は琵琶湖北西岸に位置し、高島市１市で人口49,821人（2017年８月31日現在）、滋賀県の面積の17.3%にあたる広さの中で看護活動を行っています。病院は急性期、回復期、慢性期と役割機能が確立できている３病院があり、地域においては、市役所、在宅支援診療所、医院、施設、訪問看護ステーション等、小さな支部ではありますが、地域包括ケアを支える看護の場は充実しています。支部活動においては、今年度は新人看護職員合同研修会を行い、「地域の資源を知る」をテーマに、地域連携の重要性を学び、看護職員同士のネットワークづくりを深めていきます。また、まちの保健室では、市、医師会、他の団体等の「高島まるごと介護予防まつり」のイベントに共催して、看護協会のPRや介護予防での看護の役割が発揮できるように企画しています。その他に、事例検討会や看護研究発表会を通して多職種との連携の強化に取り組んでいきます。

第７地区支部長
武内 美英子

■滋賀県看護学会及び県民公開研修のお知らせ

第22回 滋賀県看護学会

魅（み）える看護の発展

～ doing 人と未来（あす）をつむぐ ～

月日 平成29年12月7日㊍
9:00開場

場所 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

《参加申込期間》
9月12日㊋～10月16日㊊
定員になり次第締め切ります。
申し込みはお早めに!!

※詳細を協会ホームページに掲載しました。別紙にてお申し込み下さい。
※午前中の学会は参加費1500円です。今年度は滋賀県看護協会設立65年目記念事業として、午後からは県民公開研修で無料となります。会員・非会員問わず、多くの看護職がご参加下さい。

プログラム

●午前／研究報告・実践報告（口演）、交流会

各発表が終了したあと今年は各会場で交流会を開催致します。主なテーマは「臨床での研究について」「嚥下困難事例の支援」「看看連携について」「発達段階やライフサイクルに応じた看護を考える」などを企画しています。日ごろ考えている患者・家族のケア、臨床研究などについて皆で交流して考えてみませんか。

●午後／基調講演

《協会設立65年目記念県民公開研修》

「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために」

講師：滋賀県東近江市永源寺診療所 所長 **花戸 貴司**先生

●シンポジウム

「doing 人と未来（あす）をつむぐ」

病院から在宅へつなぐ看護師職、在宅で過ごす人を支える家族をシンポジストとしてお願いしております。

主催・お問い合わせ 公益社団法人 滋賀県看護協会 TEL.077-564-6468／http://www.shiga-kango.jp/

インシデント・アクシデント報告の意義について

①患者安全の確保　②事象の共有　③透明性の確保
④正式な支援　⑤システムの改善　⑥リスク感性の向上

「インシデント報告」の活用ができていますか？
事例を紹介します。

事例①：輸液更新の不適切行為

担当していた患者さんの輸液が予定時間より早く終了した。ミスが続いた新人看護師は「また怒られる」と思い、同じメニューの輸液をコッソリ更新した。

このような行動を取った背景には報告・連絡・相談できる職場環境でなかった可能性があります。また、報告の意義や患者安全の確保、透明性の確保が理解できていればすぐに対処できていたと思います。皆さんの職場環境はいかがですか？

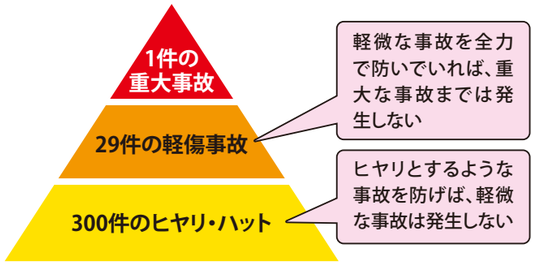
事例②：電子カルテシステムの落とし穴

新人看護師はアレルギー情報が反映されていないA画面（フリーコメントの内容がみえない）で食事とアレルギーの情報を確認し、牛乳を配膳した。患者に「牛乳はちょっと…」といわれ、B画面で再度確認するとフリーコメントに牛乳が記載されていた。早速、新人看護師は、この事例をインシデント報告した。

報告を受けた医療安全管理者はシステムの欠陥（フリーコメントが見えない確認画面がある、そのことが看護師に周知されていない）に気づき病院全体のシステムの改善につなげることができた。（システムの改善）

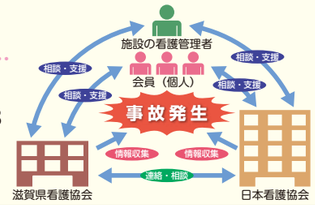
あなたの報告が第一歩!!

ハインリッヒの法則というものをご存知でしょうか。この法則は、労働災害における経験則の１つであり、１つの重大事故の背景には、29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するという法則です。医療事故発生にも当てはまるといわれています。



医療安全相談窓口

●受付時間：９時30分～16時（平日のみ）
●場　　所：滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
●担　　当：看護協会長・常務理事・医療安全推進委員（適宜）
●方　　法：電話相談・来訪相談・FAX相談



ナースセンターだより

開催しました

『看護職就職説明会』

８月２日米原市の滋賀県立産業文化交流会館で就職説明会を開催しました。県内の求人46施設が参加され、71名の看護学生や求職者が各求人施設の説明を受けたり、就活メイクや採血を体験しました。

２月にはクサツエストピアホテルで「看護職就職フェア」を開催します。託児室もありますので、小さなお子様をお持ちの方も気軽にご参加下さい。

次回開催の日程は下記へ

『看護学校進学説明会』

７月29日近江八幡市の滋賀県立男女共同参画センター（Gネットしが）で看護学校進学説明会を開催しました。

県内の高校生、教員、保護者や社会人の方81名の参加がありました。現役の看護師の話や専門学校、大学の違いを看護学校の先生から聞いた後は、看護師・保健師・助産師のコーナーもあり、仕事の内容や、資格を取るための勉強法など熱心に聞いていました。

来年も開催する予定です。社会人で、看護師の資格を取りたい方も是非ご参加ください。

開催します

看護職就職フェア in しが

滋賀県内の医療施設（約60施設）から就職の説明や面接が受けられます。看護職の資格を持っている方、看護学生の方は是非ご参加下さい。

- **日時：平成30年２月21日（水）**
  13:00 ～ 15:30
- **会場：クサツエストピアホテル**（草津駅西口徒歩３分）
- **入退場自由・参加無料・託児無料・駐車場無料**

リスタート・ナース・サポート研修

今年度最終回です

現在未就業で、訪問看護ステーションや介護福祉施設へ就職をお考えの方は、是非ご参加下さい。

- **日程：平成30年１月末～２月**
- **会場：滋賀県看護研修センター**（草津駅東口徒歩８分）
- **講義６日間、実習３日間（各施設にて）**
- **受講無料・託児補助あり**

※詳細は決まり次第ホームページへ掲載します。

ご利用ください

『こころのサポート』

今年度も半分過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。

職場や学校で悩んでいるけど「相談できる人がいない」「誰かに話したい」などのことがありましたら、「こころの相談」をご利用ください。どんな小さなことでもお聞きします。

※３週目は彦根サテライトでの相談になります。
※下記の相談日よりお電話でご予約ください。時間等詳細は予約時にお聞きします。

相談日	1週目	2週目	3週目（彦根サテライト）	4週目
11月	1日	8日	21日	22日
12月	6日	13日	19日	
1月		10日	16日	24日
2月	7日	14日	20日	28日
3月	7日	14日	20日	

AM ／ PM

お問合せ　滋賀県ナースセンター ☎077-564-9494　FAX：077-562-8998　E-mail：shiga@nurse-center.net

SHIGA! はたさぽ通信

就業コーディネーター｜古川 純子

滋賀県ナースセンターでは、看護職一人ひとりが、ライフイベントと両立しながら生涯を通して看護に携わることができるよう就業相談、就業支援を行っています。６月から再就業支援コーディネーターが古川純子に代わりました。どうぞよろしくお願いいたします。県内には、彦根サテライトと８箇所の出張相談窓口があり、経験豊富な４名の相談員の方々と連携しながら、求人施設の情報提供や、施設見学・面接の調整など、きめ細やかな再就職支援を行っています。是非、近くの就職相談窓口をお気軽にご利用ください。

■就職相談窓口のご案内

★：託児あり

場　所	対応日時	住　所	連絡先
滋賀県ナースセンター	月～金 9:00～17:00	草津市大路2丁目11-51	077-564-9494
彦根サテライト	月～金 9:00～16:30	彦根市八坂町1900番地4	0749-30-1235
ハローワーク大津	第3月曜 13:00～16:00	大津市中央4丁目6-52	077-522-3773
ハローワーク草津	第3木曜 13:00～16:00	草津市野村町5丁目17-1	077-562-3720
ハローワーク東近江	第2月曜 10:00～13:00	東近江市八日市緑町11-19	0748-22-1020
ハローワーク長浜	第2・4月曜 13:00～16:00	長浜市南高田字辻村110	0749-62-2030
マザーズジョブステーション草津駅前 要予約	第2・4水曜 10:00～16:00	草津市大路1-1-1	077-598-1480★
マザーズジョブステーションG-ネットしが 要予約	第2・4木曜 10:00～16:00	近江八幡市鷹飼町80-4	0749-36-1831★
甲賀健康福祉事務所	第2・4月曜 10:00～13:00	甲賀市水口町水口6200	0748-63-6111
高島健康福祉事務所	第1・3木曜 10:00～13:00	高島市今津町今津448-45	0740-22-2505